

科目名	地域福祉論2（社会福祉士必修）				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2023年度 後期	単位数	2		
担当教員	岡崎 達也				
内容および計画	<p>変化する地域社会を背景として、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制のあり方、地域包括ケアシステムの展開に関わる組織・団体・専門職と地域住民の主体形成のあり方について考察し、これを進めるための地域福祉計画や地域福祉活動計画の意義とその必要性について学ぶとともに、地域社会で発生している諸問題に向き合い、地域住民が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーの役割と使命について実践者の事例を参考にしながら理解を深めていきます。</p>				
1	福祉行財政システム①～国や地方公共団体の福祉行政体制について				
2	福祉行財政システム②～福祉行政の組織と財源及び専門職の役割とは				
3	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制①～地域共生社会の実現に向けての方法について				
4	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制②～包括的支援体制とその具体的な展開方法について				
5	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制③～地域包括ケアシステムの展開について				
6	<p>地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制④～地域包括支援センターの社会福祉士等をゲストに招きその実践事例を学ぶ。 （ゲストスピーカー招聘）</p>				
7	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制⑤～生活困窮者自立支援制度の目的・概要およびその役割と支援課程について				
8	地域を基盤としたソーシャルワークの展開①～地域を基盤としたソーシャルワークの概念の整理とその必要性を考える。（中間レポート）				
9	地域を基盤としたソーシャルワークの展開②～住民の主体形成の意味とあり方及びそれを援助するコミュニティソーシャルワークの視点と方法について				
10	<p>地域を基盤としたソーシャルワークの展開③～具体的なソーシャルワークの展開方法を社会福祉協議会職員の実践事例から学ぶ。 （ゲストスピーカー招聘）</p>				
11	福祉計画の意義と種類、策定と運用①～福祉計画の基本的視点、福祉行財政における福祉計画が果たす機能について				
12	福祉計画の意義と種類、策定と運用②～市町村地域福祉計画（活動計画）、都道府県の支援計画の沿革と法定化の流れおよび策定過程と方法について				
13	福祉計画の意義と種類、策定と運用③～福祉計画におけるニーズの概念や類型およびその把握の方法・技術について				
14	福祉計画の意義と種類、策定と運用④～福祉計画における評価の方法・技術を会津若松市の事例から学ぶ。				
15	地域福祉論1・2のまとめ～これまでの講義の補足及びこれからの地域福祉のあり方について討論する。				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集	中央法規	9784805882368	2021
講師作成プリント及び自治体等発行のパンフレットを適宜配布します。					
参考書	<p>①都築光一（2018）『地域福祉の理論と実際』 建帛社  ②「地域福祉から未来へ」編集委員会編・原田正樹監修（2012）『地域福祉から未来へ 社協職員 3.11』全国コミュニティライフサポートセンター  ③『社会福祉小六法』（出版社は問いません）</p>				

④第2期会津若松市・会津若松市社会福祉協議会地域福祉計画・地域福祉活動計画書（2021）会津若松市・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会	
<b>成績評価</b>	
	<b>評価方法</b>
	<b>割合(%)</b>
学習成果レポート（1000～1200字）	80
小課題レポート	20
<b>学習到達目標</b>	<p>①福祉行政のシステムについて理解し、国や地方公共団体の役割と財政について簡潔に説明できる。</p> <p>②地域包括ケアシステムの展開について簡潔に説明できる。</p> <p>③地域を基盤としたソーシャルワークの概念を整理し、その必要性を論ずることができる。</p> <p>④地域福祉計画・地域福祉活動計画の意義と策定過程および住民参加と意見徴収の必要性と課題を説明できる。</p> <p>⑤今後の社会の変化に対応した地域福祉に関する課題を予測することができる。</p>
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	
<b>その他</b>	授業の進捗状況および講師・ゲストの日程調整等により授業計画を変更する場合があります。